

サロンあべの

Vol.111

サロン・あべの8月の出会い

95年8月6日(日)、真夏の太陽がさんさんと照りつける中、第22回あべのカーニバルが、阿倍野区役所と工芸高校グラウン

さろん亭 in あべのカーニバル

ドで開催されました。

メイン会場になっているグラウンドの北東は、バザー店が軒を並べる「なんでも市どおり」です。その一角に、今年で10回目になる「サロン・あべの」の



「なんでも市どおり」の賑わい

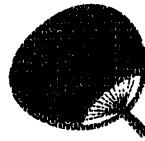
さろん亭

バザー店『さろん亭』が開店しました。

午後1時頃から商品を搬入し、開店の準備を始めます。商品を並べているときから、熱心にのぞき込むお客さんもいます。午後3時の販売開始予定が少し早

められたのも、そんな熱気が伝わったのかもしれない。たくさんあった商品も、販売開始から3時間ほどで、ほとんどなくなっていました。

今年、販売を手伝ってくれたボランティアも充実してい



△サロン・あべのVの

「さろん亭」を手伝って

阪南中学校一年五組

暑い夏の日。私達は、この夏一番の汗を流しました。

私達の文化祭のテーマを、「ボランティア活動」にしました。

初めは、何をしようかとクラスで悩みました。

公園・川のゴミ拾い

重病にかかっている人々のお手伝い

飢えて苦しむ人々へ何が出来るか

いろいろな案ができましたが、結局在宅

ました。とくに、阪南中学のボランティアグループが販売を手伝ってくださり、例年にも増して、活気があふれていました。

暑さと砂ぼこりで大変でしたが、最後までがんばってください。商品を買ってくださった方たち。みなさんのご支援に感謝します。

(上平幸雄)

サービスセンターでのボランティアをやる姿を見ながら思うこともありました。誰かのために何かをすることはステキなことだと・・・

なかでも△サロン・あべのVのみなさんと一緒に「さろん亭」のお手伝いをさせていただきましたことは忘れません。ドキドキしながらも、みなさんの優しい笑顔で緊張もなくなり、大きな声が出せました。この日のことは、とても勉強になりました。うれ

しいことがいっぱいでした。

サービスセンターでのボランティアをやる姿を見ながら思うこともありました。誰かのために何かをすることはステキなことだと・・・

なかでも△サロン・あべのVのみなさんと一緒に「さろん亭」のお手伝いをさせていただきましたことは忘れません。ドキドキしながらも、みなさんの優しい笑顔で緊張もなくなり、大きな声が出せました。この日のことは、とても勉強になりました。うれ

しいことがいっぱいでした。

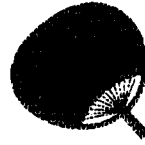
サービスセンターでのボランティアをやる姿を見ながら思うこともありました。誰かのために何かをすることはステキなことだと・・・

なかでも△サロン・あべのVのみなさんと一緒に「さろん亭」のお手伝いをさせていただきましたことは忘れません。ドキドキしながらも、みなさんの優しい笑顔で緊張もなくなり、大きな声が出せました。この日のことは、とても勉強になりました。うれ

しいことがいっぱいでした。

私達は、この「ボランティア活動」というテーマに感謝しています。

本当に、ありがとうございます。
また、こんな機会があれば幸いです。



へサロン・あべのVのみなさんへ

先日は、とてもお世話になりました。

みんなの感想を一言ずつ書かせていただきます。

江川・・・すごくすごく、楽しかったです。

奥田・・・いろいろなことを勉強させていただきました、

下農・・・また、こんな体験ができると思います。

竹本・・・売り終わるまで苦労してたけど、楽しかったです。

滑川・・・たいへんだったけど、楽しかったです。

蓮池・・・楽しい人たちがばかりで、すごく楽しかったし、勉強になったと

思います。

ほんとに私たちの方が、たくさんのごことを教えてもらいました。じゃまになったかもしれないませんが、とても楽しかったです。

私たちは、「文化祭に」ということでボランティアをはじめたのですが、今このテーマにとっても感謝しています。

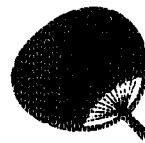
こんなに、たくさんすばらしい人たちにめぐり会えて、とてもうれしいです。



阪南中学ボランティア6人衆

また、なにかあったら、いつでもいってください。

本当にありがとうございました。



ボランティア新鮮組六人衆

あべのカーニバル「なんでも市通り」の入口角に「さろん亭」が、店開きました。

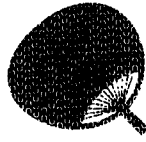
この日のお手伝いは、初参加の人が多く来て下さり、さろん亭は新鮮な活気に包まれた一日となりました。

中でも阪南中学校ボランティアグループ六人組は、初めの内こそおとなしくグループで一固まりになっていて、こちらの「二人、三人に分かれて、商品別に担当してください。」の声も届かない雰囲気がありました。が、販売開始と同時にお客さんがとっと押し寄せて来ると、ときばきとみごとに反応して、販売時間が進むほどに大きな声でお客さんに呼びかけ、足を止めさせるまでに

なっていました。

「あなたとは、活気があっていいね」と、感心された言葉もいただきました。

暑い中、初めてのバザー体験であったでしょうに、時間いっぱい頑張ってください。本当にありがとうございました。



○さろん亭ご協力者

(敬称略)

葦刈逸子、赤松菊間、井上範子、

阿倍野区肢協カークラブ(長谷・吉田)

石田 律、石田花子、伊勢村和子、

井上きみ子、井上憲一、今西美奈子、

上平幸雄、宇野厚子、太田喜代子、

大高澄子、岡本登志子、小川 啓、

奥田真祐美、加賀谷 正、柿岡 緑、

河合恵子、木口久子、木寺ちよ子、

木村峰子、蔵田、小西京子、近藤千恵子、

佐伯千恵子、阪口悦子、定兼万代子、

目 和子、生野智子、秀翠、曾根英隆、

大丸久美子、高尾澄男、竹中千代子、

竹村定子、田中喜久江、田中久男、

田中フサエ、千代松真佐子、辻本照子、

土屋由美子、出口正敏、手島八重子、

土井一典、富田慶子・十一・実幸、

富田万里子、中岡久美子、中西幸子、

中西利香、永井美智子、長堀厚子、

長野正栄、中村久子、南光龍平、

萩原弘巳、美橋野享子、長谷川マキエ、

林 三起子、原田 仁、

阪南中学一年VG(江川、奥田、下農、

竹本、滑川、蓮池)、久木 浩、

平沢邦子、比屋根章子、藤井さゆり、

松岡近子、松本 孝、松本克代、

松本定子、松森美智子、丸山寿美子、

三木法子、三田村知慧子、三谷勢津子、

山口豊子、山田絹代、倭 満也子、

八木千尋、山根匡子、山野莊一、

このたびはバザーの店「さろん亭」に多くの皆様方より、ご支援、ご協力を賜りまして有り難うございました。

お陰様でにぎにぎしく「さろん亭」を開

店することが出来ました。また、多くのお

客様との出会いと共に、サロンの活動資金

を得ることが出来ました。



活気あふれる「さろん亭」

山本篤江、山本鈴子、山本敏子、
山村貴司、若林幸子、和田保子、
吉原和郎、

(匿名三名)

これを基により広く、より豊かな出会い、作りを進めていく所存でございます。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。ありがとうございます。

△サロン・あべのV運営委員会

「さろん亭収益」

金一一一、一七五円

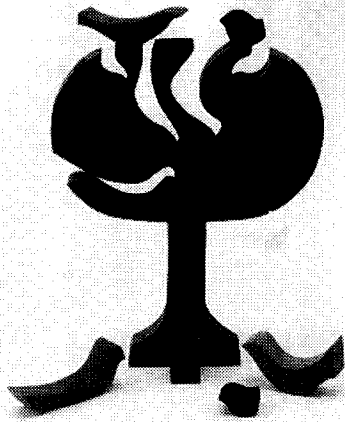
作る つくる 創る

河合恵子

積むかたち+組むかたち

おもちゃや専門の博物館はあっても一般の美術館でおもちゃを展示することは極めて稀。八月五日から九月十七日まで、東京の目黒区美術館では「積むかたち+組むかたちⅡ目黒区美術館トイ・コレクション」展が開かれています。この美術館はいつもユニークな内容の展示や一般参加のワークショップを企画してくれるのですが、今回もまたとても楽しいもの。例えば、積むかたちと言えは思いつくのは積木。ところが、ごく普通の丸や四角ばかりではなくて、リボンのカッティング、三角ばかりを集めたもの、あるいは同じ形で大ききの違う正方形三面をいわゆる入

れ子にしたものなど、思いも寄らない積木に出会ってびっくり。素材はカエデやブナなど天然木で、彩色もとても美しい。組むかたちでは、八



バード ツリー

匹の子ぎつねが寄り添うとイタヤカエデの丸太になる秋田県角館町の伝統的な細工「イタヤキツネ」や、小黒三郎さんの三十四匹の動物組み木、一本の木に十羽の小鳥が隠れる福田

繁雄さんのバードツリーなどどれも手にとってみたくなるものばかり。

このおもちゃ、美術館開館当初より、集められたもので、スイスのネフ社の製品を始め、デザインの優れたものばかり。展示会場の半分では展示してあるおもちゃの大部分を実際に手にすることができ、子供たちで大賑わい。四角い板の上に布やアクリルなど異なる材質を張った九個の円盤の上に同じ素材の円盤を目をつむつて置いていく「タツチテスト」に挑んでいた子供も指先の感覚をひとつひとつ確かめていく。合体ロボットやバービードールとはまた一味も、二味も違ったおもちゃの魅力。つきそうおとなたちが熱くなって遊んでいました。

連載二十三

高齢者と在宅介護

井元 真澄 いもと ますみ

五 震災被災地域の住民生活実態

〜被災地における実態調査より〜(2)

《調査の方法》

調査は、在宅で生活している者と、仮設住宅で生活している者の双方について行いました。

前者は、震災後も引き続き被災地域の住宅に居住を続けている世帯であり、対象地域は、神戸市、西宮市、宝塚市、淡路地域が中心です。調査方法は、調査対象者への調査票の手渡し配付と郵送による回収を行っています。調査期間は平成七年二月二十八日から三月七日で、七、三〇〇世帯を対象とし、三、七四八票の有効回答を得ています(回収率五一%)。後者は、震災により仮設住宅に入居した世帯で、対象地域は、神戸市、西宮市、宝塚市、淡路地域です。調査方法は面接法で行って

ます。調査期間は平成七年三月一日から三月二二日で、一、〇〇〇世帯を対象とし、九八五票の有効回答を得ています(回収率九八%)。

なお、回答者は双方とも特に限定せず、前者は、調査票を受け取った方、後者は、調査員の訪問時に応対に出た方としています。

《調査の結果》

一 震災に際して行った支援

【在宅生活者】

在宅生活者に対し、震災に際して行った支援内容と支援先について、複数回答でたずねました。

全体的な傾向をみると、「近隣の人を支援した」のは「給水場からの水くみ」、

「食料や日用品の買い出し」、「食料の炊き出し」が多く、「親戚を支援した」のは、「家のかたづけ」、「食料や日用品の買い出し」、がそれぞれ多くなっています。友人への支援、ボランティアとしての活動は低い割合にとどまっています。

以下、詳しい結果を紹介していきます。

① 行った支援・給水場からの水くみ

「支援はしていない」が五四・四%です。で、半数弱の人が支援を行ったことになりました。支援先は、「近隣の人を支援した」が最も多く二七・〇%と全体の約三割を占めています。水くみについては、近隣どうしの助け合いで行った様子がうかがえます。その他は、「親戚を支援した」が八・六%、「友人を支援した」が六・〇%みられます。「ボランティアとして支援した」は一・八%と、わずかです。

②行った支援・食料の炊き出し

「支援はしていない」が六六・九%を占めているため、三割を超える人々が支援を行ったこととなります。「近隣の人を支援した」が一〇・〇%、続いて「親戚を支援した」七・三%、「友人を支援した」六・〇%と続いていますが、注目すべきは「ボランティアとして支援した」の五・九%です。ボランティアとしてみずから活動した項目としては、最も高くなっています。

ボランティア活動に思う

「サロン・あべの」紙(一一〇号)ありがとうございます。

吉原和郎さんのボランティア活動手記には、考えさせられることが多いように思います。

ニュース等で行政の対応のまずさが指摘されていますが、手記にもあるように、特殊技能(この場合は操体法による治療)をもつ人が、それを生かすことができないうのは、歯がゆい気がします。

では、季節の変わりめですので、みなさまご自愛ください。

出口 正 敏

美智子のこんな話

岸 田 美智子

「第20回全障連大会」に参加して

障害者運動の全国組織である全障連大会が今年は大森ノ宮で開かれました。

今年には20年目で記念講演として落合恵子さんの講演会が一日目にあり、私はとても楽しみにしていましたが、二日間参加できる体力がなかったため、一日目は参加せずに講演会を友達に録音してきてもらいました。

二日目の生活分科会にライフネットワークからレポート報告してくれとたのまれていたので、そちらに参加しました。

午前中は、阪神大震災のその後の障害者

の様子や、全国的介護保障要求者組合などの報告がありました。この要求者組合の報告は、生活保護制度の取り方や、全国的介護料制度の金額について報告がありました。ある市では、いろいろな介護料を合計すると一カ月に七八万円も出るという話があり、すごいなあと思う反面、金額の高さばかりが問題になり、介護は全てお金で買えるのかなあと、なんだかつくづく嫌な気持ちになりました。

各地のグループからは、行政のホームヘルパーをもっと増やしてもらえほしいという意見や、逆にホームヘルパーは障害者の言葉を聞いてくれないし、お風呂介護や身体介護はやって貰えないので、ダメ。もっともっと自分たちで介護者を増やしていくためにも、介護料を上げて貰いたいという相反する意見があり、今後の介護制度が介護保険の導入などもあり、大きく変動していくのだと思われました。だからこそ、障害者の声もしっかり反映していかねばと痛感しました。

午後からは、私達のライフ・ネットワークの報告と障大連の報告がありました。

障大連の報告の時は、質問がいろいろ出

たり、知的障害者の方の報告や、草の根ろ
うあ者懇談会の報告の時は、隣の部屋から
飛び入りが駆け込んだりして、いろんな人
の発言があり、楽しく、交流も含めて、話
し合っていくことが出来ました。

その後、ライフ・ネットワークの活動を
報告したのですが、施設の実態調査のアン
ケートを施設の管理が厳しい中、どうやっ

★一度切りのふだんのこと

七日間つづけての研修をうけたと
きのことだ。宿舎から研修場まで、毎
朝、毎晩、約三十分の貸切バスの往復
の時間があつた。

貸切バスには必ずバスガイドがい
た。ほとんど毎回、違うガイドだつた。
顔も覚えていない。彼女たちが名乗る
ことはなかった。みんな、マイクをも
つこともなく、ただ、カセットの音楽
をバスのなかに流していた。

ところが、一人だけ違うガイドがい
た。彼女の顔と名前は思いだせる。マ
イクをとり、運転手と自分を紹介した
からだ。研修で疲れぎみの乗客たちは、

で行っていったかという島根の人達からの
質問があつたものの、その他の質問はなく、
やはり、施設の問題に取り組んでいるとこ
ろが少ないのだと思われました。

地域での自立生活がまだまだ厳しい中、
施設問題までを含めた地域での運動を作り
出すことが、今後の課題だなあと、つくづ
く思い知らされた分科会でした。

最初は無愛想だつたにちがいない。し
かし、彼女は、三十分のあいだ乗客を
相手におしゃべりを続けた。その土地
の習慣や、行事、自然などを、ほがら
かに話し、その土地の歌を歌ってくれ
た。

研修を受ける人の数が多かつたの
で、バスは数台に分かれていたが、私
は、幸運にも、あのガイドさんに二度
会うことができた。最初は、宿泊所に
帰る夜のバス、二度めは、研修場にい
く朝のバスだ。夜も、朝も、彼女は変
わることなく、楽しげに笑顔を浮かべ
て話してくれた。きつと、私が乗らな

ただ、こういう地域の生活問題を話し合
う分科会の中で、やっと施設の問題が報告
できるようになったことは評価できると思
います。他にも交通問題や作業所分科会な
どでも、施設の問題が組み込まれていくこ
とが望まれるのではないのでしょうか。

入所施設も地域の中にあるのですから…

かつたバスでも、彼女は、同じように
明るく乗客に声をかけていたにちが
いない。

その街は初めてだつた私は、バスの
動きとともに流れていく風景を窓に
見ながら、ガイドさんの話に耳を傾け
ていた。私はこのことをずっと覚えて
いるだろう。その土地の名前を地図に
みたとき、きつと、彼女の歌を思いだ
すだろう。

ガイドたちは、毎日、新しい乗客と
出会う。旅の途中の乗客にとっては初
めての道のりも、バスガイドには日常
のことだ。いつもの見なれた光景であ

り、特別なことは何もない退屈な道にすぎない。その退屈な道を見ながら、乗客の興奮にあわせて、熱意をこめて語りかけるのは難しい。まして、そん

なことをしなくても賃金は同じだという状況においては、なおさらだ。十数人のガイドたちは、さっきの彼女をのぞいて、みんなマイクを手にと

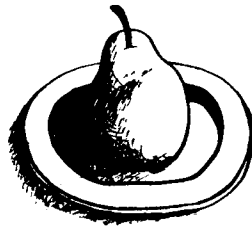


おもしろい 姉ちゃん

9月バンザイ

「夏休み」：10年（うつ、そんな昔か）くらい前までは、あんなに素敵な響きをもっていた言葉が、今年の私には悪魔の呪文に聞こえました。

19名もの小学4年〜高校2年までの男の子が、朝から晩まで若いエネルギーをもてあまして園内にいるのは（クラブだ、バイトだと何名かは日中消えますが）、まさに職員にとつて地獄。
うちの母が
「夏休み、早よ終わらんかな」とつぶやいていた姿が自分にオーバードラップ。



寝ている間に、顔に落書きされたと半ペソの子をなぐさめていると、こっちで上ばきかくされたと怒りの声が上がると。そのそばでは、クーラーの下TVつけっぱなしで、ゲームボーイ。

全国の（？）お母さん、夏休みが終わって本当によかったですね。

9月バンザイ！

田 淵 美登利

ることもなく、黙って乗客を無視していた。バス会社のマニュアルにも、三十分しかのらない送迎バスの客に与えるサービスマンなど無かったにちがいない。それに乗客は、ガイドたちに何も期待していなかったのである。

人に会うとき、相手にはたった一度の特別なときなのに、自分にとっては、いつもと変わらない、ごくありふれた時間であることがある。バスガイドだけでなく、観光産業にかかわる人たちは、みんな、そういう状況におかれている。

観光だけではない。病気をして医者に診てもらおうとき、医者にとつては毎日の流れのなかの、ごくありふれた場面にすぎないが、患者にとつては一生忘れられない時間かもしれない。教員として学生の相談をうけると、私は、いつもの退屈な仕事をしているつもりでも、学生たちには、それが特別な機会になるかもしれないのだ。

自分にとつては、ごくありふれたことでも、日々、接する人びとにとつては貴重な一度っきりの時間であると

き、私は、どうやってそれを忘れずに
いることができるだろうか。それは、
毎日毎日の平凡な同じ仕事のなかに、
いつも新鮮な喜びを見つけることと
同じくらいに難しいのである。(知)



サロン紙ありがとう

朝夕涼しくなり、秋の訪れを楽しんで居
ます。ハサロン・あべのV紙、有り難うご
ざいました。一一〇号の

*こんなボランティア活動もありました

*『キシヨイ』なる言葉

*忘れられること

等々、心に沁みました。

寝たきり老人の調査や一人暮らしのお年寄
りの訪問やら、次々と用事が重なります。

元気で動ける事を感謝し乍らの毎日です。

森 下 公 子

歓迎 エスカレーター様

西田辺にエスカレーター

このほど、地下鉄西田辺駅(上り)にエスカレーターが完成。八
月十五日から利用できる。それに先だって十一日に試運転が行
われ、竹村さん・富田さん・山本さんに初乗りしてもらいました。
はてさて、乗り心地のほどは……

実現した要望

竹 下 定 子

■地下鉄

○エレベーターは、地上からホーム迄設置。
(途中迄のところと、ビルの中にあるの

は休日使用出来ない)

回答II駅の周辺にビルが出来る時にはエレ

ベーターを作るようお願いしている。

○電車の乗降時に簡易スロープを一カ所設

置。

回答II参考にする。

○駅の階段等の上り下りのところに、イン

ターホンを設置。

回答II要望に御応えするよう努力する。

○設置されたエレベーターの可動時間を終

平成七年八月十五日より、地下鉄西田
辺に車いす用エスカレーターがさくら銀行
側に付きました。
思い返せば平成四年七月九日に「ボラン
ティア・街角ウオッチンググループ」の一
員として、大阪市交通局の総務課広報係へ。
その時、富田さんにも御一緒に行ってい
ただきました。
その時の要望と同局の回答は左記の通り
でした。

大阪市交通局へのお願ひ

電車迄延長。

回答II エスカレーターは努力する。

○ エスカレーターの踏み板二枚を一枚に出
来ないか。

回答II 改善するよう努力している。

○ エレベーター、エスカレーターの設置場
所がよく判るように、表示板の取り付け
表示板に道順も欲しい、車いすの人の目
の高さに。

回答II 確認する。

■ バス

○ 市バス乗降口のステップの高さが高すぎ

秋刀魚

秋は魚形も大きく、脂が乗り、最
も美味ともてはやされた秋刀魚。
昨今、漁業のありかたや出荷の機
構などで、暑い時にも出るようにな
って、ほろ苦い思いである。
なにがなんでも「かるた」です。

縣特 かるた 雙子 一五〇回

る。

回答II 今のところ低く出来ないが、大阪市

バスは低い方。

○ リフトバス付きバスの最終時刻の延長

(特に土・日)

回答II 伝えておく。

以上

いけない事ですが、忙しさについて忘れて
おりましたら、一昨年でしたかエスカレ
ーターを設置するに当たつての公聴会がある
と地区の町会長から話があり、富田さん
サロンの時お会いして、ぜひ来られたらと
お誘いしましたところ、富田さんだけで
たが来ていただきいろいろと話し合いをした
中で、要望書のように車いすも使用出来る
ようにになっているとの事。

そのエスカレーターが出来上がるのを、
待ち遠しく思っていましたところ、平成七
年八月十一日試乗しに来るようにとの事。
当日見学させていただきましたところ、
とても便利よく出来ていました。

踏み板は三枚が一枚になり、利用面は青
く色付けされており、安全弁の爪も起きる
ようになって、見た目にも安心出来るもの

でした。今は、千里方面へ行く線だけで
が、又、一年半しますと、中百舌鳥方面
きにもエスカレーターが設置されます。

いましばらく、御辛抱くださいますよう
に。

西田辺についたエスカレーター

山本 篤 江

8月11日に地下鉄御堂筋線の西田辺駅に
やっとエスカレーターが付いたというので
試運転をかねて初乗りして来ました。

今までエスカレーターの下りは後ろ向き
で乗っていたのですが、ステップ3段が平
らになる車椅子用のエスカレーターだつた
ら前向きに乗ることが出来るので少し怖か
った。けれど、それはわくわくする怖さで
した。

少し前にも神戸の方で、エスカレーター
に乗ったのですが、そこは、2段が平らに
なるやつで、それだったら電動の車椅子で
は、少し乗りづらいように思いました。

誰でもが乗れるエレベーター、エスカレ
ーターはよいのですが、「お疲れター」
にならないでください。

エスカレーターに試乗して

富田 慶子

地下鉄御堂筋線西田辺駅の梅田方面行き北出入り口(さくら銀行前)が改装され、階段とエスカレーターが平行設置されました。

この駅のエスカレーターは、電動車いすを乗せて上下出来る機能が付くと、平成五年の工事説明会の時伺っていましたが、実際どのような形になるのか、興味津々の歳月でした。そのエスカレーターが完成し、試乗会があるからと、ボランティアの竹村さんより連絡をいただきました。

八月十一日(金)午前十時より、新装なった地下鉄出入り口に集合した私たちは、駅員や工事関係の方々から、エスカレーターの利用についてお話を伺いました。歩道と地下鉄出入り口には、今までの様な段差は無く、車椅子が入りしやすくなっています。手前にエスカレーター、奥に階段があり、階段の降り口の手前の壁に駅員を呼び出すインターホンが設置されています。この床に四角い枠の印が見られます。この枠に収まる車椅子が、ここのエスカレーターを利用出来る大きさだそうです。

呼び出された駅員は、エス

カレーターを止めて車椅子が乗れる板(三枚の段が平らになる)青色に色別されている)が、定位置に来るように動かし、車椅子がその板に乗り移ると始動のボタンがおされ、下降が始まります。大きな音もなく、揺れもなく、スムーズに降りていく気分は何の不安もありませんでした。

この西田辺駅は、階段を降りるとすぐ改札があり、ホームへと続いていますので、このエスカレーターが設置されたことにより、車椅子利用者にとっては地下鉄の利用がしやすくなったといえます。

昇りの時も、エスカレーター手前横の壁にあるインターホンで駅員を呼んで、エスカレーターを車椅子利用に切り替えてもらえば、楽々地上へ。

反対側の駅(堺方面行き)にエスカレーターが新設されるのは来年暮れの予定ですが、駅員の方はどちらの利用もきがねなく申し出て欲しい。障害者だけでなく、高齢者や事情のある人も、このエスカレーター



西田辺駅にエスカレーター

機能の利用を...と言って下さったのが心強く聞こえました。

このエスカレーターの一般使用は、八月十五日から、この工事に伴い車椅子用トイレが駅に設けられるのは、この秋に完成されるということです。

地下鉄西田辺駅にエスカレーターが、と聞いた時は、なぜエレベーターでなくエスカレーターなのかと不満が先にたちました。試乗に汗をながしながらお世話下さる駅員の方々の姿を拝見していますと、この駅の利用も私の行動範囲に入るかなと、新しい興味が湧いてきました。

その節はどうぞよろしく、お願いします。

海外からのおたより

残暑、お見舞い申し上げます。

いつも「サロン・あべの」紙をありがとうございます。

私も毎月、グループ内で簡単な情報紙を発行しているだけに、毎回のご苦勞に頭が下がります。

今後とも、がんばってください。

サンフランシスコは、やはり日本に比べるとずいぶん涼しくて、日中歩き回ってもあまり汗をかきません。

お元気で。 JAL 中村真典



感謝します

カンパ、冊子、バザー用の品・飲料水・アイスクリーム、紙袋等のご寄贈、

いろはがるた冊子等、サロングッズお買い上げありがとうございました。

お礼を申し上げます。

○八月のご支援・ご協力者 (敬称略)

葦刈逸子、井上範子、上平幸雄、

大高澄子、奥田真祐美、加賀谷 正、

柿岡 緑、河合恵子、小西京子、

鹿野莊一、生野智子、高尾澄男、

竹中千代子、千代松真佐子、手島八重子

富田慶子・実幸、中西幸子、長野正栄、

南光龍平、西 和子、橋野享子、

平沢邦子、藤井さゆり、松岡近子、

三谷勢津子、村田能子、八木千代子、

山本篤江、山本鈴子、山本敏子、

山村貴司、吉原和郎、 (他多数名)

朗読テープのご案内

山本敏子さんのご協力で、Aサロン・あべのV紙一〇号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、一一〇号の分があります。五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本にそれぞれ収録されています。又、絵本「未知の記憶」(作絵川中川勝彦、「ラジオたんぱ」六月四日(日)放送のAサロン・あべのV五月の出会い取材テープ(三〇分)もあります。

いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

(☎ 〇六一六九一一〇二八)

お知らせ

サロン・あべの10月の出会い

日時 10月21日(土) 午後1時〜4時

場所 育徳コミュニティセンター研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、車いすトイレ有り)

テーマ

「グループホーム生活を始めて4カ月」

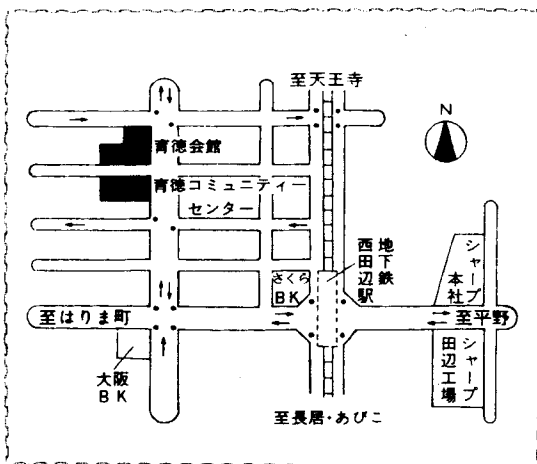
パネラー ライフネットワーク事務局

岸田美智子氏

会費なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎ 06(691) 1028 (富田慶子)



第10回 ふれあいボランティア フェスティバル



サロン隣組ニュース

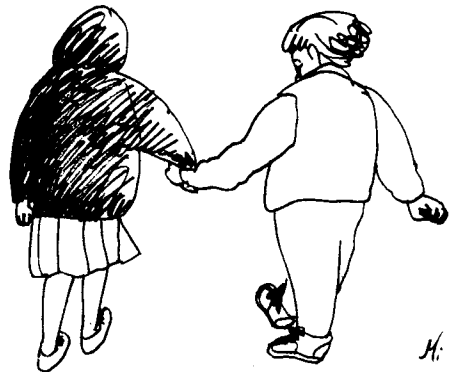
日時：10月14日（土） 小雨決行
午前10時～午後3時
場所：長居公園 第2運動場
東住吉区長居公園1-1
内容：ふくしの広場
福祉機器の展示、入浴サービスの実演、
介護教室・相談
たいけん広場
アイマスク・車いす体験、障害者スポ
ーツ、みんなでスポーツ
ふれあい広場
アトラクション、レクリエーション
ボランティア広場
ボランティア活動相談、歌って語って
遊ぼう、木工遊び
わんぱく広場
迷路、宝さがし、手づくり工作
その他
模擬店、バザー、展示

問い合わせ：
大阪市社会福祉協議会
天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
TEL765-5601 FAX765-5605

♥この開催中、三区（阿倍野・東淀川・淀川）
の「サロン紹介」が午前11時と午後1時
50分の2回、ボランティア広場で行われ
ます。又、サロンコーナーではサロン紙の
バックナンバーや、サロングッズなども取
り揃えていますので、ぜひお遊びにお出
かけ下さい。皆様との出会いを楽しみにお待ち
しています。

■「サロン淀川」

○サロン淀川10月の出会い
日時・10月22日（日）
午後1時30分～4時
場所・淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」
[大阪市淀川区三国本町2-14]
内容・「看護婦になって思うこと」
講師・淀川区老人福祉センター看護婦
よも だ と し え
藤田 登史枝氏
会費・なし
問い合わせ先・☎06-306-2900
大阪市淀川区社会福祉協議会
ボランティア・ビューロー



第52回国民体育大会
おおさか ふれ愛 夢づくり
なみはや国体



第33回全国身体障害者スポーツ大会
ふれ愛びっく大阪
ときめいて今 はばたいて未来

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.111['95. 9.16 発行] 定価¥100.
代 表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365
連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028
表 題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子
印 刷；セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F
TEL06-719-8212 FAX06-719-8213